

広報・教育部門

高校生と堺市上下水道局とのコラボレーションによる 下水道学習

大阪府立泉陽高等学校食物部

「私達が下水道に貢献できることは何か」**下水道を自分ゴトに!**

部活動や授業における基礎学習



【家庭科の授業】
料理排水と環境負荷について学習しました



【シールド工場の現場見学】
下水道の最先端技術の凄さを肌で感じました

学習成果の発表



【三宝あじさいまつりでのライブキッチン】
「下水道のために誰もが出来る料理の後始末」を来場者の前で発表しました



【文化祭で下水道のPR】
これまで学んだことをポスター発表しました

PRポイント!

次世代を担う高校生の私達が「下水道に貢献できることは何か」自分ゴトとして考え、学ぶ機会を部活動をきっかけに学校全体に伝播できました。また、食物部や実験部が堺市のイベントに参加し、ライブキッチンという形で、学習成果「下水道のために誰もが出来る料理の後始末とは」を市民の皆様へ発表し、下水道維持管理広報の一端をお手伝いしました。

取組の効果!

教科書どおりの授業だけでなく、下水道で働く皆さんの知識や経験を聞き、快適な日々の生活と下水道の繋がりや、市民として下水道の維持管理に関心をもつことが出来ました。また、部活動→学年→学校→地域へと関心を拡げる大切さを学び、**上下水道局の職員との交流は、進路選択や将来のキャリア形成の一助となっています。**

Key Person



泉陽高校食物部

これまで調理や製菓といった作ることを目的としていた食物部が、堺市上下水道局の方々のサポートを得て、次世代を担う消費者としてライフラインを意識し、様々な取組によって情報を発信する活動にまで成長することができました。これからも食物部内にとどまらず、家庭排水が流れて行く下水道を意識できる消費者が増えるよう、部活動の一つの柱として取り組んでいきたいと思ひます。